WSISフォーラム2020の結果概要

総務省　国際戦略局 国際政策課　山口（やまぐち）　典史（のりふみ）
総務省　国際戦略局 国際政策課　小澤（おざわ）　亮二（りょうじ）
総務省　国際戦略局 国際政策課　大槻（おおつき）　芽美子（めみこ）

1. 概要

WSIS（World Summit on the Information Society：世界情報社会サミット）フォーラムは、2003年及び2005年に策定したWSISアクションラインの進捗報告・情報交換等を行うことを目的として、アクションラインのファシリテーターであるITU（国際電気通信連合）がUNESCO（国連教育科学文化機関）、UNCTAD（国連貿易開発会議）、UNDP（国連開発計画）との共催により、2009年から毎年開催しているフォーラムであり、各国政府・国連機関のみならず、すべてのステークホルダーが参加可能となっている。

2020年のWSISフォーラムは当初4月6日（月）～9日（木）にスイス・ジュネーブのITU本部での実施が予定されていたが、新型コロナウィルス（COVID-19）感染拡大の影響により6月22日（月）～9月10日（木）の約3か月にわたるバーチャルでの開催に変更となり、世界約150か国から12,000人を超える参加者が、約130のセッションに参加した。9月7日（月）～10日（木）の4日間は“Final Week”と称されるハイレベルトラックが開催された。計13のセッションに、各国政府・国連機関・企業・市民社会・学術界からのハイレベルが参加し、日本からは吉田総務審議官、渡辺国際戦略局次長が、2つのセッションでスピーチを行った。

2. ハイレベルトラックの結果

(1) オープニングセグメント

ハイレベルトラック初日の9月7日、渡辺国際戦略局次長が「WSISアクションラインとSDGs」のセッションに参加。「デジタルトランスフォーメーションとグローバルパートナーシップの推進」とのテーマに関連し、価値の源泉であるデータ流通や重要なインフラとして期待される5G整備等について、日本の取組みを紹介しつつ、トラストやオープン性、国際・マルチステークホルダー連携等の重要性を説いた。

そのほか、ルワンダから自国の取組みとして、ウガンダ、ケニア、南アフリカと共同で実施したローミング料金無料化プロジェクトが紹介された。またIEEEからはSDGs達成に向けた先進技術と環境持続性の関係、IFIP（情報処理国際連合）からはSDGs達成に向けたパートナーシップの在り方、Internet Societyからはインターネットの成長と強化に向けたパートナーシップについての発言があった。

本セッションでは冒頭に、今回のWSISフォーラムのスポンサーに対する「Appreciation Ceremony」も執り行われ、プラチナスポンサーのUAE、ゴールドスポンサーのサウジアラビアに加え、「Partner for Specific Activities」として資金を提供した我が国やスイス等にも表彰状が授与され、ITU事務総局長から謝辞が表された。

(2) 閣僚級ラウンドテーブル

ハイレベルトラックの2日目には、各国政府からの閣僚レベルのみがクローズドで参加するラウンドテーブルが開催された。アルジェリア、アゼルバイジャン、バングラデシュ、ブルガリア、コスタリカ、ジブチ、インド、インドネシア、モルドバ、メキシコ、パレスチナ、カタール、シリア、ジンバブエ等約30か国の通信関連省庁の大臣・副大臣級が登壇し、ブロードバンド政策とその普及状況、COVID-19対策などについて紹介した。ジャオ事務総局長が最後に挨拶を行った。我が国からは吉田総務審議官が陪席として参加した。

(3) ハイレベルダイアログ

ハイレベルダイアログのうち、「Building back better with broadband（ブロードバンドによる再建）」のセッションに吉田総務審議官が参加した。本セッションでモデレーターを務めたボグダン電気通信開発局長が、COVID-19の危機をはじめとした世界的な緊急事態やパンデミックからの復興において、デジタルソリューションの可能性を活用してITUのメンバーを支援することを目的としたイニシアティブの一つである“Connect2Recover”プロジェクトを日本及びサウジアラビア政府と共に開始したことを発表し、吉田総務審議官がプロジェクトの内容紹介を含めたスピーチを行った。また、本セッションの実施中にプロジェクトの開

始に関するITUからの報道発表が行われた。

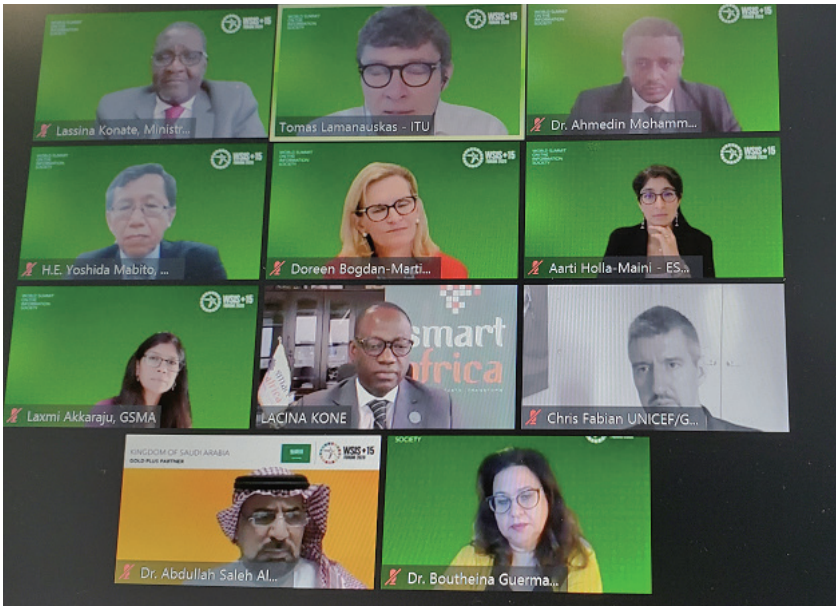
本セッションでは他に、エチオピア及びコートジボワールから、パンデミックにおけるデジタルコネクティビティの役割について、その課題と自国の取組みが紹介された。またGSMAがCOVID-19の課題解決に向けモバイル業界が果たした役割を説明した。世界銀行からは、コネクティビティアジェンダの達成に向けて必要かつ利用可能な財政資源についての言及があった。

(4) その他

次回のWSISフォーラムは2021年5月にジュネーブにて開催予定であり、準備のためのオープンコンサルテーションが2020年9月9日に開始されている。

参考

会合結果及び文書は下記URLからダウンロード可能
https://www.itu.int/net4/wsis/forum/2020/Home/Outcomes



■図1. ハイレベルダイアログのパネリスト

■図2. 吉田総務審議官によるスピーチ